主催：富山県在宅医療支援センター（富山県医師会）・富山県

富山県在宅医療支援センター講演会

「どこまで治療し、どこから自然に委ねるのか」

人生の最終段階における医療の着地点とは。
患者の人生と死生観を尊重し、医療者が果たすべき役割を考える。

2027
1.22 金
19:30 -20:50

会場	富山県医師会館＋Web
対象	医師及び関係多職種
単位	日医生涯教育講座：CC2/1.0単位 （医療倫理：臨床倫理）

講師プロフィール



東京大学大学院人文社会系研究科
死生学・応用倫理センター上廣講座
特任教授

会田　薫子 先生
（あいた　かおるこ）

東京大学大学院医学系研究科健康科学専攻博士課程修了。博士（保健学）。ハーバード大学メディカル・スクール医療倫理プログラムのフェロー（フルブライト留学）を経て、2012年に東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター特任准教授に着任、2017年より現職。
専門は臨床倫理、医療倫理、看護倫理、臨床死生学。人生の最終段階における医療・ケアや高齢者医療・ケアなどを研究。日本老年医学会、日本生命倫理学会などの理事を務める。主な著書に『長寿時代の臨床倫理』（2026年）、『ACPの考え方と実践』（2024年）、『長寿時代の医療・ケア』（2019年）など。

演題

人生の最終段階における医療・ケア
― 共同意思決定とACPの役割

長寿の時代に、ひとりひとりの高齢者の意思を尊重し、家族にとっても心安らかな人生の最終段階となるようにするには、どのようにすべきだろうか。
医療・ケア専門職の役割は重大であり、社会からの期待はとても大きい。本人の老化の程度を考慮し過剰侵襲を避け、過少医療にも陥らないように配慮し、緩和ケアの精神を核として医療・ケアを提供する考え方および本人・家族のための意思決定支援について、共同意思決定(SDM)と日本型ACPのあり方から考える。

お申し込みはこちら

右のQRコードをスキャンして、
申込フォームよりお申込ください。
（お一人様につき、1アカウントにてお申込ください。）

申込締切
1.20 水

お問合せ：富山県在宅医療支援センター　井澤　　TEL　076-429-4466　/　E-Mail　zaitaku@toyama.med.or.jp